

2013年5月吉日

創業百周年のご挨拶

弊社は1913年(大正2年)5月1日ラサ島燐砒株式会社として設立、2013年(平成25年)5月に百周年を迎えることができました。

創業者である恒藤規隆らが、沖縄の南東400kmにあるラサ島(沖大東島)において、リン鉱石を発掘し、燐酸肥料の製造を開始したのが会社の嚆矢です。

以来、大正・昭和・平成の各時代において、関東大震災、昭和恐慌、第二次世界大戦、高度経済成長、オイルショック、バブル経済の崩壊、リーマンショック、東日本大震災などの激動の歴史の中を歩んでまいりました。

会社創業以来、肥料、非鉄・石炭鉱山、化学工業薬品、土木建設機械、銅精錬、レジャー産業、電子材料などの事業を手がけ、様々な変遷を経て現在に至っておりますが、幸いなことに、当初からのリンを基礎原料とした製品が、現在に至るまで当社の主力事業として存続しておりますことは感慨深いものがあります。

時代の大きなうねりの中で、節目となります百周年を迎えることができましたのも、時代ごとに支えて頂きました株主・取引先・当社グループ社員を始め、関係先の皆様のご支援やご協力があればこそと、深く感謝致しております。

今後とも、弊社は全社員が一丸となり、社会のお役に立てる会社を目指し、企業価値の向上に努めてまいりますので、一層のご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

ラサ工業株式会社

取締役社長 庄司宇秀